

契約の締結につき議決を求めることについて (危機管理センター新築工事)

1 事業概要

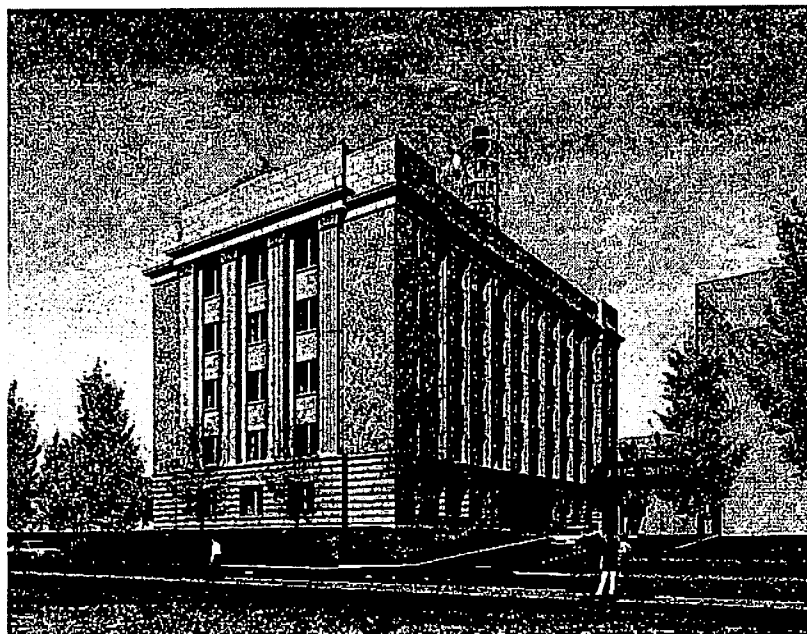
地震等の自然災害をはじめテロや新型インフルエンザ等様々な危機事案に対し迅速・的確に対応するとともに、自助・共助による地域防災力の向上のため、危機管理機能の拠点となる危機管理センターを整備します。

2 工事概要

- (1) 工 事 名 平成 25 年度 第 19 号 危機管理センター新築工事
- (2) 工事場所 大津市京町四丁目 1-1
- (3) 工事内容 危機管理センター 鉄筋コンクリート造 5 階建 (免震構造)
延べ面積 5,461.03 m²
渡り廊下一式、外構工事一式、既設本館改修一式

3 契約概要

- (1) 契約金額 1,857,600,000 円
- (2) 契約の相手方 大津市浜大津一丁目 2 番 18 号
奥村・三東建設工事共同企業体
代表者 株式会社奥村組滋賀営業所 所長 樋口修治
- (3) 工 期 契約成立の日より 5 日以内の日から平成 27 年 3 月 27 日まで



4 施設概要

○ 災害対策本部機能

災害対策室

警察、自衛隊、緊急消防援助隊等関係機関の活動拠点として、必要な部屋数と面積を確保。可動間仕切りで部屋数・面積を臨機応変に調整可能。

オペレーションルーム

初動対策班・関係機関による情報収集・対策の立案等の場。収集した複数の映像情報をマルチ映像方式により大形電動スクリーン2画面に提供。

災害対策本部員会議室

本部員、関係機関等が参集し、総合的な対策方針等について協議等を行う場。

プレスセンター

記者発表の場。報道機関の控室。

○ 施設の機能維持

免震構造

構造体の安全性確保のため、免震構造を採用。

建物と地盤の間に地震のエネルギーを吸収する免震層を設置。一般的な耐震構造の建物と比較すると、大地震時の揺れは3分の1程度に低減。

非常用発電機設備

機械室、無線統制室、オペレーションルーム、災害対策本部員会議室、災害対策室等、重要室の活動を3日間連続して行える発電機出力と燃料備蓄容量を確保。

給水設備

上水受水槽（飲料系、シャワー系）、雑用受水槽（トイレ系）、防災井戸、飲料のペットボトル備蓄により、活動に必要な水を3日以上確保。

排水設備

公共下水設備が使用できない場合でも、緊急汚水槽、排水リサイクルシステムにより3日以上トイレの利用が可能。

備蓄倉庫

災害対応に従事する職員（約3,000人）の3日分の飲料水、食料、防災用品等を備蓄。

○ その他

環境配慮

太陽光発電機設備：屋上に太陽光パネル10kWを配置。4階執務ゾーンの照明電力をカバー。

空調設備：自然換気システム等を最大限活用。

景観計画

県庁本館とデザインを統一。街並みとして違和感の無い景観を創出。

バリアフリー

不特定多数の利用者が予想される1階および4階に多目的トイレを設置。

段差のない玄関・身障者対応EVにより、開かれたアクセス経路を確保。

外構計画

透水性アスファルト舗装および浸透柵を採用し、雨水を地面に浸透。

5 経過・予定

○ 経過

平成24年3月 基本計画策定

8月 設計着手 (設計業者：株式会社日建設計)

平成25年7月 設計完了

○ 予定

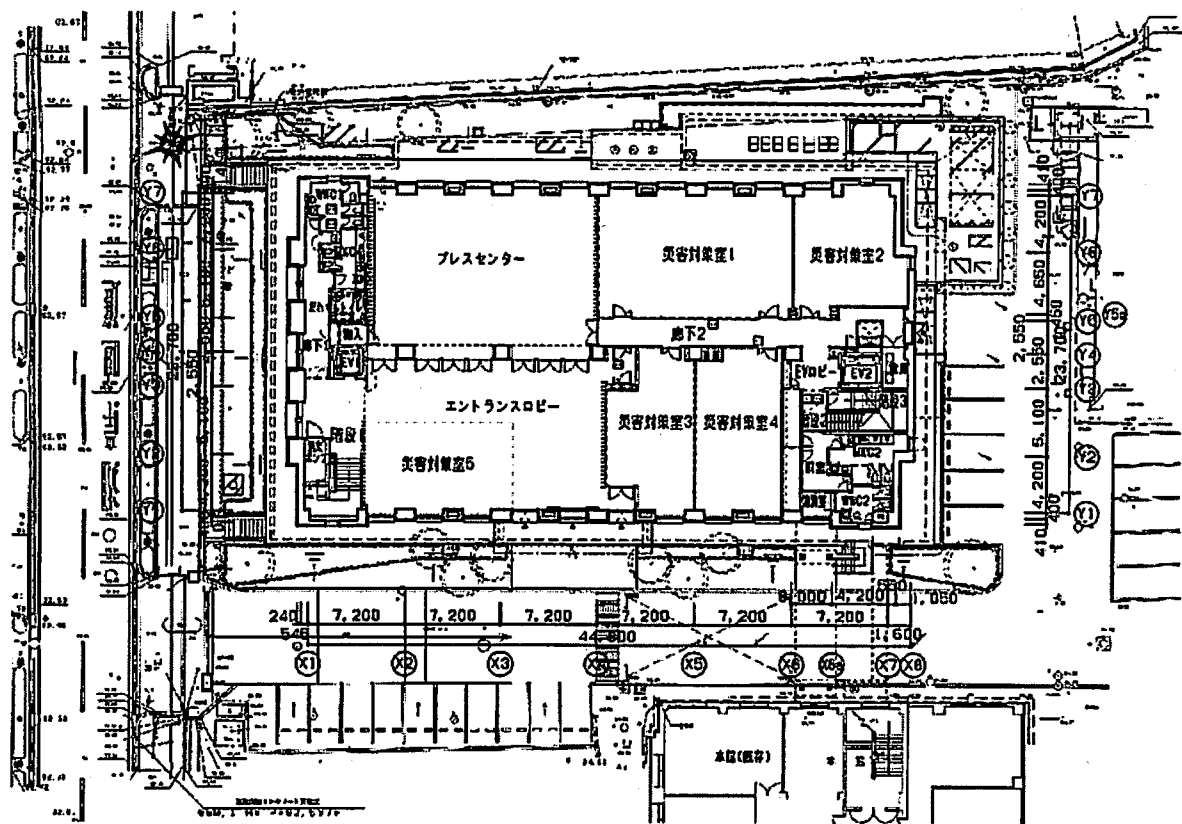
平成26年1月 本体建築工事着手

平成27年3月 本体建築工事完了

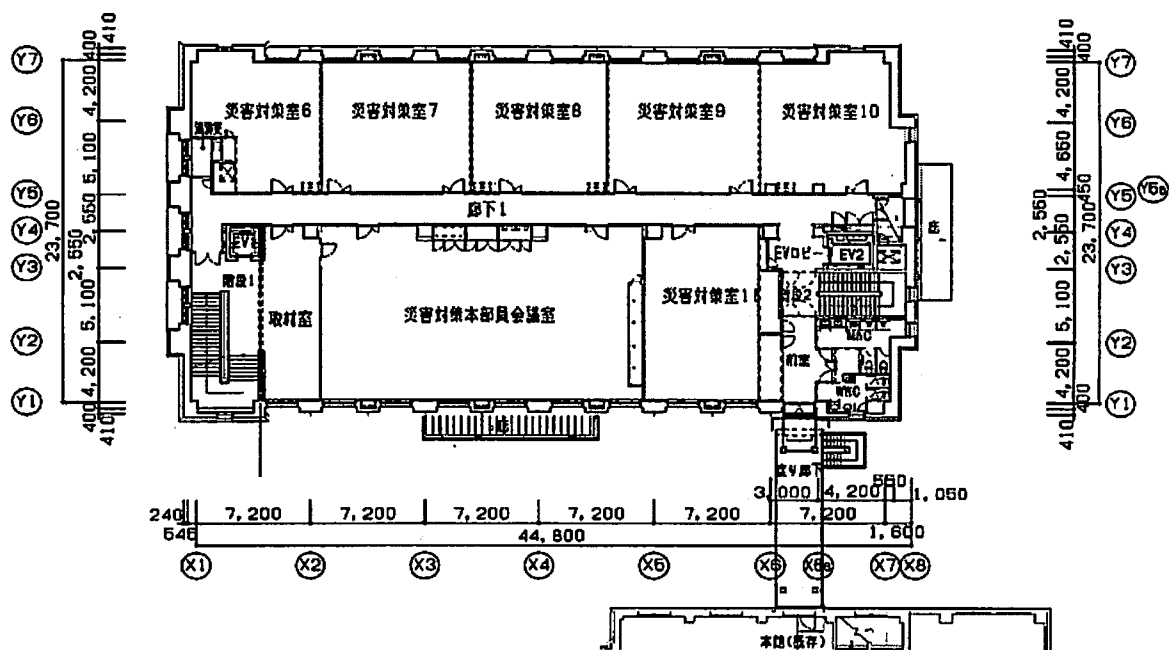
平成27年度中 供用開始



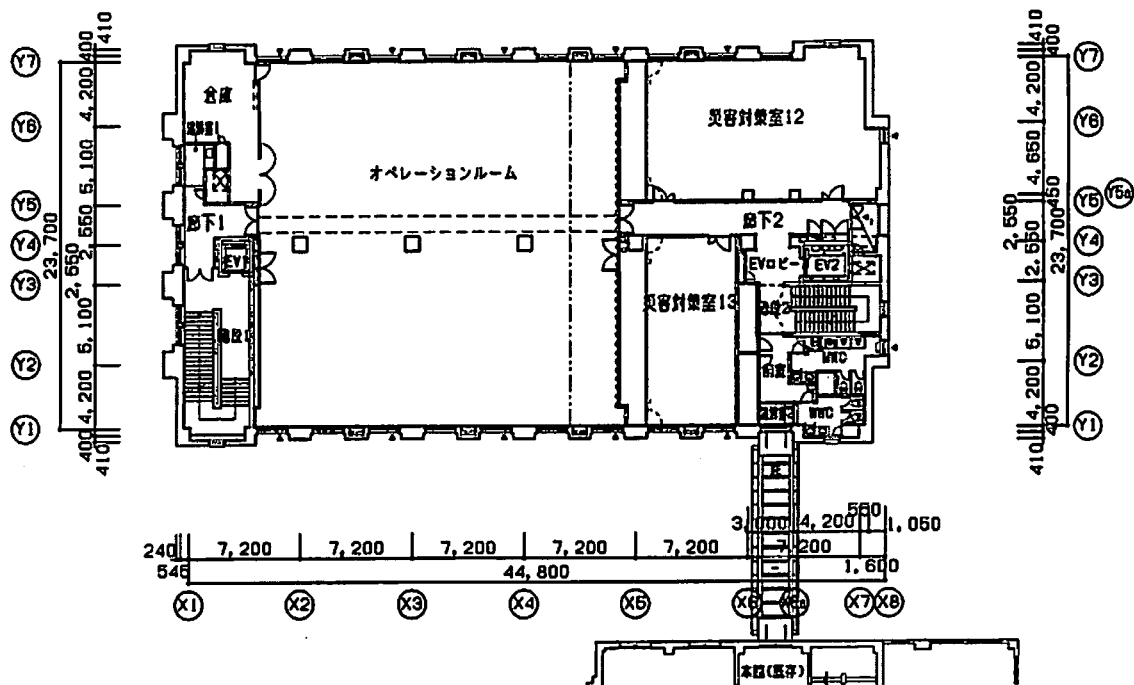
位置図



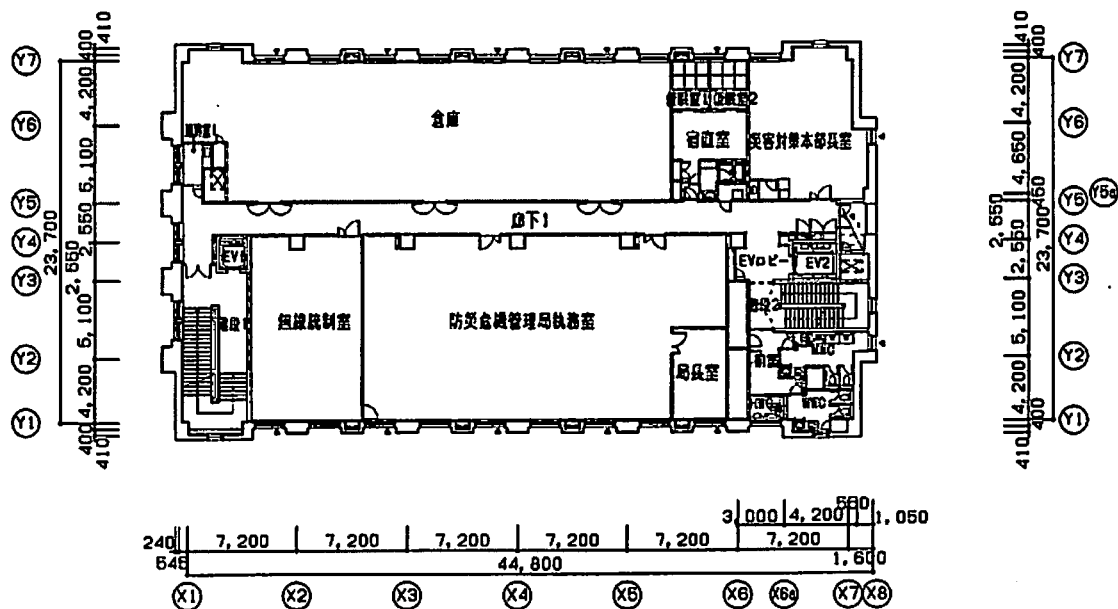
配置図、1階平面図



2階平面図



3階平面図



4階平面図

